教科目名 情報リテラシー (Information Literacy)

学科名•学年:制御情報工学科 1年

単 位 数 な ど : 必履修 2単位 (前期2コマ,学習保証時間42時間)

担 当 教 員 : 彭 剛 (ほう ごう)

授業の概要

コンピュータ上の主要アプリケーションであるワード,表計算ソフト,プレゼンテーションソフトとデータベース構築用のアクセス,インターネット,電子メールの利用方法を講義する.

達成目標と評価方法

大分高専目標 (B2), JABEE 目標 (c) (d1②)

- (1) ワードを使って綺麗に文章を編集できる. (定期試験)
- (2) 報告書やプレゼンテーションの作成方法を把握する. (定期試験)
- (3) データ分析及びデータベースの構築ができる. (定期試験)

回	2 20 01	<u> </u>	内容	理解度の自己点検
	第1章	情報処理の基礎	○情報リテラシーという概念を理解で	【理解の度合い】
1-2	1.1	青報化社会を考える	きる.	
	1.2 '	青報リテラシーの必要性		
	第2章	パソコンの基本操作	○パソコンを構成するハードウェアと	
	2.1	パソコンの基本構成	ソフトウェアを理解し, Windows の基	
	2.2	ハードウェア	本操作ができる.	
	2.3	ノフトウェア		
3-4		WindowsXP の基本操作		
		Word による文書処理	○1. 章, 節, 段落などをきちんと分	
5-6	3.1 V	Word の基本操作	けて, 体系的に整理する. 2. 表,	
		文書の編集	図, 絵などを使って内容を具体的に	
7-8		図形の作成	分かりやすく表現する. 3. 文字の	
		文書の印刷	大きさや形の変化, 囲み線, 模様,	
		群線と作表	色などを使って表現する. 4. 簡単	
9-10		ホームページの作成	なホームページを作成できる.	
		Word の練習問題		
11-12		インターネットと電子メール	○インターネットと電子メールの使い	
		インターネットを使ってみよう	方を学び、自由に運用できる.	
40.11		子メールを使ってみよう		
13-14		Excel による表計算とデータベース	○Excel の色々なコマンドを理解し、	
		Excel の基本操作	表の作成,データ分析,グラフの作	
	· ·	表計算の基本操作	成と編集ができる.	
		フークシートの書式設定		
1.5		表の拡張 ₈₈₃₋₈₈₄		T-3-4 FC
15 16-17	前期中	川八駅 間試験の解答と解説		【試験の点数】 点 【理解の度合い】
10 17	5.5			【建解*ジ及日*・】
		グラフの作成と編集		
18-19		Excel による表計算の応用		
		データベース		
	第6章	PowerPoint によるプレゼンテーション	○PowerPointの基本機能から応用ま	
20-21	6.1	プレゼンテーションとは	で解説する. マルチタスクの実現に	
	6.2 I	PowerPoint でプレゼンテーションの作成	より PowerPoint や Word, Excel など	
	6.3	プレゼンテーションの 編集と図形処理	で同時作業する方法,インスタントウ	
22-23		スライドショーによるプレゼンテーション	ィザードやプレゼンテーション会議な	
		プレゼンテーション作成の応用と演習	どの機能についても自由に使える.	
		Access によるデータベースの構築	○Access の利用法の基礎から,デ	
24-25		データベースの概念	ータベースの設計と作成, データの	
		Access の基本操作	処理、フォームの取り扱い、レポート	
26-27		データベースの構築 	の出力などの構築と運用ができる.	F - brek Love W
28	前期期			【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説			
履修上の注意				【総合達成度】
教 科 書		書 斎木邦弘,三浦信弘,白井晴男,乙名健,「Microsoft Office XP を使った 情報リテラシーの基礎」 近代科学社		
参考	図書	書 本講義に関する本は多いので特に参考書は指定しない.		
関連	科目	情報処理Ⅰ,情報処理Ⅱ		
	達成目標の(1)~(3)について2回の定期試験で評価する.			
総合	評価	最終成績=2回の定期試験の平均		【総合評価】 点
		総合評価が60点以上を合格とする.		